

平成 22 年度

財団法人 立川市地域文化振興財団

事業計画書

財団法人 立川市地域文化振興財団

平成 22 年度 財団法人立川市地域文化振興財団事業計画書

はじめに

財団法人立川市地域文化振興財団は、市民の文化向上と福祉の増進を図るため、コミュニティの振興に関する事業を推進し、もって地域社会の発展と健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的に昭和 63 年に設立され、本年で 22 年目を迎えます。

その間、各種の様々な文化施策を展開し、年々多様化する市民の文化芸術に対する要求に応え、積極的に市民参加事業を実施するとともに、子ども・青少年の文化芸術普及活動に力を入れております。また、平成 18 年度から 5 年間、指定管理者として市民会館の管理運営に努めるとともに、文化芸術振興の中心的役割を担っております。

財団は、優れた文化芸術に触れる機会を市民の皆様を提供することを大きな柱としておりますが、現在、拠点施設の劣化問題や指定管理者の更新、公益財団法人への移行など、重要な課題に直面しております。

平成 22 年度は、財団の基本理念に基づき、質の高い文化芸術の提供や市民の自主的な文化活動の支援など、市民ニーズを捉えながら事業の充実を図ってまいります。また、次期指定管理者としての更新及び平成 23 年 4 月の公益財団法人への移行認定に向けて、組織や管理運営体制、各種事業運営のあり方などの見直しによる経営改革に取り組んで、市民に財団の役割を明確に打ち出しできる体制を目指してまいります。

基本指針

- ・人材育成や情報、資金提供などの市民の自主的・自立的な文化芸術活動を支援する組織である「立川文化芸術のまちづくり協議会」の事務局を担う。
- ・子ども・青少年が舞台芸術や伝統芸術に触れ、日頃味わえない感動や刺激を体験する事業の拡充を図っていく。
- ・団塊の世代（シニア）の豊かな経験や知識・技能それに入脈などを受け入れ・活動支援などの方策を推進する。
- ・指定管理者としてきめ細やかなサービス、安全で快適な利用環境づくりに積極的に取り組むとともに、財団の果たすべき役割や事業の必要性、運営の方向性などを明らかにして、次期指定管理者としての更新指定を果たす。
- ・公益認定基準と公益目的事業を検証し、寄付行為や法人への課税優遇措置が充実する「公益財団法人」への移行認定の基盤整備を図る。

主要事業の概要

1. 文化、スポーツ等を通じたコミュニティの振興に関する事業

- 1) 最も多くの市民が来館する事業であるステージ事業では、多様化する市民ニーズに応えるため、様々なジャンルをカバーする事業を実施します。

特にポピュラージャンルでは、「南こうせつ」「岩崎宏美」など中高年に人気のあるアーティスト以外に「倉木麻衣」「平原綾香」など多くの若者にも支持されるアーティストの公演を実施します。

演劇古典芸能の分野でも恒例の「松竹大歌舞伎」「紅葉能」や「新春寄席」の他、新派の2大女優の共演による特別公演や毎回多くの親子連れが来館する「しまじろう」の新作を上演するなど、幼児から団塊の世代以上の幅広い年代の市民に楽しんでもいただける事業をそろえました。

最後にクラシックジャンルでは来場者アンケートでも希望の多い、「仲道郁代」「佐藤しのぶ」のリサイタルを公演する他、国立音楽大学との連携によるコンサート、オペラコンサートを実施します。

さらに昨年に引き続き劇団やオーケストラとの共同主催事業を実施し、全体としては昨年を上回る事業数を確保しました。

- 2) 市民参加型事業としては、昨年7月に発足し、市民オペラ「アイダ」公演を大成功に終わらせた、立川市民オペラの会と協働で市民オペラの普及活動に取り組み、次回の市民オペラ本公演へ向けた土台作りを行います。

また、昨年8劇団が参加した「たちかわ真夏の夜の演劇祭」、200点近く出展した「たちかわアートギャラリー展」など市民の文化活動の成果を発表する場を提供する事業を行うほか、小中学生を対象とする事業として「小学校演劇体験事業」や航空中央音楽隊による中学生へのクリニックと楽器演奏体験を含む「吹奏楽体験事業」、さらに中高年に大舞台に立つ喜びを与え、多数来場した市民には懐かしい音楽を提供する「大人バンドフェスティバル」を継続して実施します。

- 3) ハイキング事業では美術館を訪ねる事業等や立川市の行う姉妹市交流の一環である環境体験活動を受託し、昨年に引き続き姉妹市の大町市を訪問します。

- 4) 平成21年12月1日発足した「立川文化芸術のまちづくり協議会」が本格的に活動を開始するにあたりその事務局としての役割を担います。

- 5) 昨年より財団が運営の中心となって実施した春、秋の「楽市」と夏の「よいと祭り」、今年度も多くの市民、市民団体、自治会、企業などと連携を図りながら財団ならではの文化の視点の取り組みも含めて実施します。

2. コミュニティ活動の助成及び援助に関する事業

- 1) コミュニティ・ステージ事業は、昨年度と同様に新規団体や未実施の地域での開催を計画します。

- 2) 市民の自主的な文化芸術活動を支援するため共催・後援事業を進めるとともに、市民に多種多様な舞台芸術を提供するため、財団主催事業の補完の意味でも積極的にプロモーターとの共催・後援事業に取り組みます。

3. コミュニティ活動の啓発、情報の収集・提供及び相談に関する事業

- 1) 財団情報紙「ムーサ」やホームページを有効に活用し、まちづくり協議会の役割でもある文化芸術情報の収集・提供を行います。

また、今年度も市内ボランティア団体の協力により点字及び声のムーサも制作します。

4. 施設の管理に関する事業

- 1) 指定管理者として公立文化施設の使命を発揮しながら、施設の貸し出しや利用を通じて、優れた文化・芸術等に触れる機会を提供し、利用者ニーズに即応した安全で快適なサービスの提供と業務の効率化を図ります。また、次期指定管理者の更新指定に努めるとともに、平成23年4月1日の公益財団法人への移行認定のための基盤整備に努めます。

文化、スポーツ等を通じたコミュニティの振興に関する事業

『ステージ事業』

ステージ事業では幼児からお年寄りまで幅広い層の市民に舞台芸術の素晴らしさを体験していただくため、クラシック音楽からポピュラー、演劇、古典芸能まで昨年の数を上回る様々なジャンルの事業を実施します。

ジャンル	事業名	企画内容等	実施予定日 場所
クラシック	仲道郁代ピアノリサイタル ショパン・シューマン 生誕200年記念	ショパン、そしてシューマンの演奏家としても第一人者の仲道郁代による演奏会。 シューマン：「謝肉祭」、「トロイメライ」 ショパン：「華麗なる円舞曲」、「別れの曲」他	6月5日(土) 大ホール
	東京ニューシティー管弦楽団 神崎ゆう子 「美しき日本の歌」 (共同主催事業)	平成20年度に好評を博した演奏会の第2弾。 元NHK歌のお姉さん神崎ゆう子がオーケストラをバックに日本の名曲を歌います。	7月4日(日) 大ホール
	フレッシュ名曲コンサート 「田園」 「ピアノ協奏曲第1番」 大友直人/東京交響楽団 (東京都歴史文化財団助成事業)	昨年大晦日のジルベスターコンサートでも活躍した、人気マエストロ大友直人の指揮による名曲演奏会。 管弦楽：東京交響楽団 ピアノ：加藤大樹(東京音楽コンクール第1位) ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 他 アイムホールを使用してピアニストの加藤大樹による事前キャンペーンも実施します。	9月12日(日) 大ホール プレコンサート 7月23日(金) アイムホール
	宝くじ文化公演 サンクトペテルブルク 室内管弦楽団 クリスマスコンサート (宝くじ助成事業)	ロシアの古都サンクトペテルブルクで活動する室内管弦楽団によるクリスマスコンサート。 「三大アヴェ・マリア」、「G線上のアリア」などクリスマスの名曲をお届けします。	12月15日(水) 大ホール
	佐藤しのぶソプラノリサイタル	国立音楽大学出身、人気№1ソプラノ歌手として活躍を続ける佐藤しのぶによる7年ぶりのリサイタル。 オペラの名曲から歌曲までたっぷりとお聴かせします。	平成23年 1月23日(日) 大ホール
	国立音楽大学コンサート	平成20年に国立音楽大学と立川市との間での連携・協働に関する協定が締結されたことを記念して始まったコンサートの第3回目。 国立音楽大学の先生方を中心とした一流の演奏を解説付きで市民に楽しんでいただきます。	平成23年 3月27日(日) 大ホール

ジャンル	事業名	企画内容等	実施予定日 場所
ポ ピ ュ ラ ー	岩崎宏美 35周年記念コンサート	多くのヒット曲をもつ実力派歌手、岩崎宏美のデビュー35周年記念コンサート。	4月25日(日) 大ホール
	DO AS INFINITY TOUR 2010	アニメ主題歌やCMソングなどで若い世代に支持されている人気グループのコンサート。	5月13日(木) 大ホール
	平原綾香コンサート	ポピュラー音楽にクラシックの要素を取り入れて幅広い層に人気のある平原綾香、4年ぶりの立川公演。	6月13日(日) 大ホール
	倉木麻衣コンサート	1999年のデビュー以来、高い人気を誇る倉木麻衣の初めての立川でのコンサート。	未定 大ホール
	南こうせつコンサート	ニューミュージック界の大御所、南こうせつ。かぐや姫時代からのヒット曲を元気いっぱいに歌います。	10月2日(土) 大ホール

ジャンル	事業名	企画内容等	実施予定日 場所
古 典 芸 能 ・ 演 劇	劇団東少「シンデレラ」 (共同主催事業)	児童・青少年向けの演劇事業を展開している劇団東少との共同主催により名作「シンデレラ」を公演します。	5月15日(土) 大ホール
	アミュー笑ホール寄席	立川お馴染みの真打ちと若手実力派を中心におくる落語会です。年3回を予定します。	6月、10月、 平成23年3月 小ホール
	松竹大歌舞伎	人間国宝・尾上菊五郎と長男の菊之助、尾上松緑と、人気役者による公演です。 演目：一、「廓三番叟」 二、「一條大蔵譚」 三、「棒しばり」	7月3日(土) 大ホール 2回公演
	ファミリーミュージカル しまじろう 「南の島のファンタジー」	毎回好評の幼児向けファミリーミュージカル新作を真っ先に公演します。	7月10日(土) 大ホール
	松竹新派特別公演 有吉佐和子原作 「華香」	新派の2枚看板がそろって登場する豪華版です。 出演：水谷八重子、波乃久里子、佐藤B作 他 演出：石井ふく子、脚本：大藪郁子	9月9日(木) 大ホール
	梅若研能会による 「紅葉能」	2年ぶりの能公演は来場者アンケートで最も希望が多い「紅葉狩」を公演 一、「紅葉狩」 二、狂言は演目未定	11月27日(土) 大ホール
	新春たちかわ寄席	実力者の独演会を中心に検討中	平成23年 2月予定 大ホール

『市民参加育成事業』

青少年を対象にする体験事業や、絵画、演劇、音楽等、様々な活動に参加する市民を対象に事業を展開します。

事業名	企画内容等	実施予定日 場所
小学校演劇体験事業 劇団エンゼル 「赤毛のアン」	立川市教育委員会及び市民観劇団体との協力により、実施している演劇体験事業、平成 22 年度は名作「赤毛のアン」を上演します。 感受性に富む年頃に心に残る舞台芸術を体験させることによって、豊かな情操を育むことと将来の演劇顧客の拡大にも繋がる事業として実施します。	10月16日(土) 大ホール
第 19 回たちかわ真夏の夜の演劇祭	多摩地域で活動している市民劇団を公募し、実行委員会が中心となり企画、広報、運営を行います。アマチュア劇団の技術の向上ために演技の講座も実施します。 第 19 回のテーマは「煌(きらめき)」です。	8月 大ホール 小ホール
立川市民オペラの会	本公演「アイダ」を成功させた立川市民オペラの会。次回の本公演開催に向けて、オペラサポーターの募集やオペラ普及事業など、立川の町にオペラが根付くための活動を行います。 特に、普及事業については有名な「カルメン」を取り上げ、オペラの楽しさを広めることを目的とした公演を開催します。	通年 2月12日(土) 大ホール
第 17 回たちかわアートギャラリー展	絵画愛好家の技術の向上と絵画人口の拡大を目的に「描く喜び、見る楽しみ」をテーマとし、日本画、水墨画、油彩・アクリル、水彩、パステル、ペン画、鉛筆画、版画、きり絵、ちぎり絵の 10 のジャンルで作品を募集し、応募作品はすべてを展示して市民のための絵画展として実施します。	5月15日(土) ～23日(日) 第 16 回実績 出展数 191 点 入場者数 1,173 名 展示室
多摩フレッシュ音楽コンサート 2010 (東京多摩公立文化施設協議会共同事業)	多摩地域で音楽を学び、そこから日本全国へ、あるいは世界へ大きく羽ばたこうとする若い音楽家に飛躍のきっかけとなる場を与えるとともに、芸術家と地域が結びつきを強め、より活発な文化芸術環境を構築することを目的に実施します。 部門は「声楽部門」と「金管楽器部門」の 2 部門を実施します。	6月22日(火) 23日(水) 大ホール
立川市児童合唱団	平成 19 年度から保護者による自主運営に移行した「立川市児童合唱団」へ、団員募集や広報協力などの支援を行います。	練習 毎週土曜日 立川 6 小、他
青少年吹奏楽体験事業	航空中央音楽隊と連携して青少年対象に吹奏楽の楽しさを伝える事業を実施します。 コンサート当日の楽器体験や中学校吹奏楽部への隊員によるクリニック等を予定しています。	コンサート 9月11日(土) 大ホール クリニック 9月 市内中学校
立川おとなバンド フェスティバル 2010	音楽活動をする市民を応援している団体「立川まちおん」と協働して、元気に音楽を続けている中高年バンドに発表の場を提供すると共に、来場する多くの市民に音楽の楽しさを感じてもらいます。	9月25日(土) 大ホール

『スポーツ・レクリエーション事業』

健康増進を図るとともに、季節の花や自然・歴史、芸術作品に触れるハイキング事業と、日本のお正月の風物詩を家族で楽しむ子ども凧あげ大会を実施します。

事業名（場所）	事業内容等	実施予定日	募集人員等
姉妹市交流事業 （長野県大町市） 立川市からの受託事業	来年３月に姉妹市締結２０周年を迎える長野県大町市を訪問し、森林保全作業体験や市民との交流事業を実施します。	夏休み期間 １泊２日	４５名
新春子ども凧あげ大会 （多摩川緑地市民運動場）	日本の伝統文化である凧あげを通して親子のコミュニケーションを図ります。 ビニール凧の材料を用意し、恒例となったおしること多摩川鍋などのふるまいを行います。 立川市子ども会連合会委託事業。	平成２３年 １月上旬	９０名
美術館を訪ねる ハイキング （関東近郊）	文化施設を訪ねる事業として、昨年の静岡県立美術館に続き、関東近郊の美術館を訪ねます。	平成２３年 ３月下旬	４５名

『市民文化芸術活動推進事業』

立川市文化芸術のまちづくり条例に基づき文化芸術活動支援の推進組織としての役割を担い、市民の自主的な文化活動について積極的に支援してまいります。

事業名	事業内容等	会場・日程等
立川文化芸術のまちづくり協議会	「立川文化芸術のまちづくり協議会」の設立を受け、事務局として市民の文化芸術活動を支援する。 1．補助金制度 立川文化芸術のまちづくり協議会が創設する補助金制度の申請等事務作業を担います。 2．情報の収集と発信 市民の文化芸術活動に役立つ情報を収集し、活用できるよう制度の整備を担います。 3．アウトリーチ事業 文化芸術に触れる機会を設けるため、文化芸術活動団体の保有する特色や能力の集約を行い、アウトリーチ事業の計画及び調整を担います。 その他、事務局として総会、役員会、企画運営委員会等の会議に関する準備、調整を行う。	通年
市民イベント	「立川よいと祭り・楽市」の市民イベントについて、財団の人材や事業活動の中で蓄積されたノウハウを活かして、観光協会などとともに、協働事務局を担い、観光・文化イベントとして、さらなる発展を目差してまいります。 1．春の楽市 2．よいと祭り 3．秋の楽市	4月10日(土) 8月7日(土) 日程未定

コミュニティ活動の助成及び援助に関する事業

市民文化の向上とコミュニティ活動に寄与する事業への奨励・援助及び市民の自主的な活動に対して活性化を図ります。

事業名	対象	実施時期	対象活動内容
共催事業	主催団体	随時	市民文化の向上とコミュニティ活動の振興に寄与する公益性、芸術性を有する事業に対し、共催名義の使用を許可し、主催団体に対し、次に掲げる事項について援助します。 市民会館使用料の減免 財団情報紙「ムーサ」等による PR 市内掲示板にポスターの掲示（実費） 市民団体が主催の場合、入場券前売り手数料の免除などの援助を行います。 22 年度予定事業 〔市民団体〕 東京 TAMA 音楽祭、アート 95、立川管弦楽団 他 〔プロモーター〕 イルカ、島津亜矢、森昌子、秋川雅史、夏川りみ、クリスマスゴスペル 他
後援事業	主催団体	随時	市民文化の向上とコミュニティ活動の振興に寄与する公益性、芸術性を有する事業に対して後援名義の使用を許可し、情報紙への掲載による PR など事業活動を側面から援助します。
コミュニティ・ステージ 助成・援助	地域団体	随時	「コミュニティ・ステージ」助成・援助事業をさらに積極的に展開し、市内の自治会・PTA などの地域団体や市民が身近な場所で音楽会や演芸会などを開催できるよう財団がお手伝いします。 平成 22 年度は 21 年度同様新規の団体、未実施の地域での開催を計画します。
コミュニティ 奨励賞表彰	個人 団体	表彰式 3 月中旬	文化・スポーツ活動などを通して自主的・積極的に地域に貢献あるいは、特筆すべき記録・成績をあげた個人や団体を表彰し、市民の関心を深め、地域活動の活性化を図ることを目的として実施します。 文化・芸術活動奨励賞 スポーツ活動奨励賞 善行活動奨励賞 地域活動推進奨励賞

コミュニティ活動の啓発、情報の収集・提供及び相談に関する事業

地域における様々な市民活動や文化活動に関する情報の収集と提供を行うとともに、その企画及び相談に対応し、地域コミュニティ活動の活性化とふれあいのある市民生活の実現を図ります。

事業名	企画内容等	実施予定日 場所	備考
情報紙「ムーサ」発行	立川市市民会館の催し物を中心に多くの市民に文化・芸術情報を提供するため、レイアウトの工夫など紙面をよ4広報と一緒に配布します。	隔月(奇数月) 立川市及び 周辺17市町	480,000部 のうち 380,000部 を新聞折込 80,000部を 市内全戸配布
財団ホームページ	利用者が判りやすく情報を受け取れる見やすいHPを目指します。 また、昨年度一部の事業で実施した、インターネットでのチケット購入についても今年度は全ての主催事業で実施します。 バナー広告も引き続き募集し、収入の確保に努めます。	通年	月平均 アクセス数 約10,000件
ムーサ友の会	チケットの先行購入 1公演につき2枚までの割引 アーティストグッズのプレゼント などの特典を活かし会員の一層の確保に努め、 会費収入と安定した入場料収入を確保します。	通年	平成22年1月 現在 約5,300名
アミュー水曜コンサート	本年度も広く市民から出演者を募集するほか、国立音楽大学の学生にも出演を依頼し、発表の機会を提供します。月に1回水曜の午後のひととき、市民会館のロビーで気軽に音楽を楽しんでもらう場として市民に開放します。	月1回水曜日 市民ロビー	
企画提供・相談事業	市制施行七十周年及び新庁舎落成を記念として実施される「プラスフェスタ・イン・立川」を立川市からの受託事業として実施します。	5月9日(日) 大ホール	
	立川市主催の「高齢者のつどい」のアトラクション部門を財団が企画提供、民謡やナツメロ、演芸などを楽しんで頂きます。	9月19日(日) 大ホール	
市民文化芸術コーナーの活用	市民会館ロビーに市民が気軽に文化芸術情報に接するためのコーナーを設置します。 ピアノ自動演奏も定期的に実施します。	通年 市民ロビー	
立川市広報掲示板の管理運営	市民の文化活動の広報手段である立川市掲示板の管理運営業務を財団で行います。22年度は多摩都市モノレールの3駅にも掲示板を設置します。	通年	

施設の管理に関する事業

立川市市民会館（アミューたちかわ）の設置目的である「市民の福祉を増進し、文化の向上を図るため」を達成するため、公立文化施設としての使命を最大限に発揮しながら、施設の貸し出し及び利用を通じて、施設利用者などの市民に文化・芸術等に触れる機会を提供し、地域社会の発展と健康で豊かな市民生活の形成に努めるとともに、利用者のニーズに即応し、安全で快適なサービスの提供と業務の効率化を図ります。また、次期指定管理者の更新指定に努めるとともに、平成 23 年 4 月 1 日の公益財団法人への移行認定のための基盤整備に努めます。

事業名	事業内容	施設概要
施設の管理	立川市市民会館（アミューたちかわ）を市民の文化活動の拠点として、また、優れた芸術文化鑑賞の場としての機能が十分に果たせるよう、適切な維持管理を行うとともに、効率的な運営に努めます。 （１）文化芸術の発信拠点としての機能のほか、市民活動や学習の機会と場を提供する役割を担い、文化活動の質的向上につなげます。 （２）市民からの意見や要望をはじめ、利用者へのアンケートを最大限活用し、市民や利用者のニーズを的確に把握するとともに、文化芸術活動や施設管理に反映していきます。 （３）プロモーター等による施設の利用促進に努めるとともに、インターネットによるチケット販売を推進して利用率の向上を図り、幅広い芸術鑑賞の機会と場を提供できるように努めます。 （４）利用者に対して安全性と快適さを提供できるよう、施設及び設備の適切な維持管理に努めるとともに、施設の特性を活かした管理を行います。 （５）施設及び設備の安全管理と緊急時の対応に関して、立川市や関係機関と連携・協働を図り、日頃より十分な体制づくりに努めます。 （６）市庁舎移転後の市民会館のあり方、改善策について立川市との協議を行い、耐震・劣化改修に向け準備を進めます。 （７）組織や管理運営体制を見直しする経営改革に取り組むとともに、公益目的事業を検証し、公益財団法人への移行認定申請を行います。 （８）文化芸術に専門性を有する財団の果たす役割や事業運営の必要性、方向性を検証し、次期指定管理者の更新に努めます。	施設 立川市市民会館 （アミューたちかわ） 所在地 立川市錦町 3 - 3 - 20 施設内容 大ホール（1,452 席） 小ホール（280 席） 展示室兼練習室（282 m²） サブホール（127 m²） 会議室（8 室）等

